



御神船

「御神船」とは、伊達藩の時代、物資流通や大漁祈願の海渡りに活躍した船が称賛されて「御神船」と呼ばれるようになりました。

2023
(令和5年)
新春
特別号

不許複製：禁無断転載・引用 = 敬称略 =

仙台水産ホームページ www.sendaisuisan.co.jp

仙水グループ広報

会長年頭所感

仙台商産

会長 島貫 文好



新年明けましておめでとうございます。ごさいます。

仙水グループ24社の皆様方には輝かしい新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

▼昨年から今年へと持ち越された中長期的問題(課題)は大変厳しいものと認識します。身辺には新型コロナウイルス第8波と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されています。業界ではイカ、カツオ、サンマなどの大衆魚の不漁が数量の減少としてグループ各社の経営に大きな影響を与えております。将来に向かってグループとしての環境保全対策が必要です。一方、水産物の消費低迷は私たちの最も大きな課題です。集荷力強化は大切なことです。が、出口戦略として消費拡大をグループ一丸となって前面に打ち出す仕掛けはどうでしょうか。また、販売にあたっては上質な経営を維持するため価値の再評

価、即ち歩廻り向上の手立てを確立することが必要と思われまふ。円安などによる燃油や飼料、原材料などの高騰は今後も続く重い課題です。一方では輸出の拡大やインバウンドなどの強化策は今年も重要な施策と思いまふ。

福島第一原発事故に伴う「MR処理水」の海洋放出問題は漁業者だけの問題ではなく流通、消費を含む幅広い対策が必要と考えまふ。市場法の改正では場外との競争が鮮明となりまふ。競争に打ち勝つために市場流通がハイコストにならないよう機能することが仙台商産の任務の一つです。振り返れば、今までも幾多の困難がありました。①昭和46年の突然の変動相場制導入②二度の(昭和48年、54年)オイルショック③昭和57年200海里設定などです。しかし、先輩達は国難とも言ふべき課題を克服しました。

▼新年にあたり主な課題をあげましたが、グループの役員員の皆様方にはこの一年も勉強に励み、智恵と工夫を凝らし中長期課題に挑戦をお願いしまふ。明るく元気に笑顔で取り組んで頂きたく心より祈念しまふ。

仙台水産

社長 本田 誠



新年明けましておめでとうございます。昨年末はコロナ第8波の渦中、グループ各社が一丸となつて「お客様に喜んでいただく」活動を実践されたことに深く感謝申し上げます。今年は新しい日常が常態化する「ポストコロナ元年」となりまふ。年明け早々、グループ各社でプロジェクトを組みクレド(Credo)の作成を行います。クレドとは、仙水グループ従業員が拠り所とする価値観や行動規範を簡単に表すことです。今年も「変化はチャンス」今日と違う明日を手に入れたらと思うならば、昨日と違うことをやらなければなりません。「成功は常に窮苦の日であり、失敗の多く得意の時に因る」の言葉を肝に銘じ「お客様に喜んでいただく」を基本に、戦ってまいりまふ。

仙台商産

社長 石森 克文



昨年(2022年)は世界中で激動の一年でした。「迷った時には基本にかえる」ということで、現在仙水グループの「クレド」を作成しています。グループ各社が拠り所とする価値観・行動規範を分かりやすく簡潔に表したものです。各社の選抜メンバーと年度末までに作成して皆さんに提示する予定です。経営理念「豊かな食を創造し地域社会に貢献する」をより具体的に心に浸透するクレドを期待するところです。昨年「健康・家庭・仕事」が全て充実していることが良き人生だとの話を聞きました。グループの皆さんはどうでしょうか？自分自身の健康に留意し、家庭(家族)を大切に考え、お客様に喜んでもらう仕事を。結果としてグループ全ての人が良き人生になれるよう役割を果たしてまいります。

仙台丸水配送

社長 鈴木 良徳



仙水センター

会長 熊谷 純智



新年明けましておめでとうございます。昨年も仙水グループの皆様には多大なご支援をいただき御礼申し上げます。

当社は昨年引き続き様々な社内改革に取り組みでまいりました。時間を守ろう。期限のルールを守ろう。全員で申し合わせ、生産性の向上を実践しました。また、退職金規定や慶弔規定など諸規定の改定、産業医による健康増進活動など安心して働ける職場づくりに注力しました。

役職員の皆さんには大変な苦労をかけた1年だったかと思えます。理解し協力していただいたことに感謝いたします。

今年もお客様に喜ばれ、信頼されるグループ機能会社であり続けられるよう、役職員一人ひとりが丁寧な仕事をされることを期待します。心を一つに頑張りましょう。

仙水冷蔵
仙台食品

社長 伊藤 真



新年明けましておめでとうございます。昨年はグループ各社の皆様には多大なご支援、ご協力をいただき心より御礼申し上げます。昨年は商品価格の高騰や光熱費の増大により大変厳しい年となりましたが、今年は創意工夫と更なる顧客満足を実現し難局を乗り越えてまいりたいと思います。

仙水冷蔵は引き続き人材育成を柱に人身・物損事故0を目標とし、お客様へのサービスの質を向上させて地域社会に貢献してまいります。仙台食品は大手量販店様のベンダーとしての責任を果たし仙台水産営業との連携を更に深め、お客様の要望、ご期待に応え喜んでいただくことで売上の拡大に努めてまいります。

グループ各社様のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

イーネット

社長 佐藤 浩



新年明けましておめでとうございます。昨年は仙水グループ各社の皆様には多大なご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。昨年、グループ仲卸販売管理システム、量販店向け生鮮E O Bシステム及び取引先WEBシステムをクラウドへ移行し、拡張性と柔軟性を高め、より変化に対応できる環境を整えました。一昨年、安全で安心な移行を行ったメインコンピュータは順調に稼働し、業務処理の大幅なスピードアップを実現致しました。この新たな技術

基盤を活用し、迅速で易しく適応性のあるシステム開発と業務の効率的な運用に取り組んでまいります。役職員一同、グループの皆様にご支援を頂きながら、技術を磨き、新たな価値を生み出すために挑戦します。よろしく

お願い申し上げます。

仙水デイリー
栄進流通

社長 松本文彦



新年明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスやウクライナ戦争で明け暮れた年でしたが仙水デイリー、栄進流通ともどもグループ各社の皆様のご支援、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

今年も社会環境が大きく変化することが予想されます。世界情勢は為替の円安で油の値上げ、それによる全ての物価高騰、また海外の魚の需要拡大による魚や原材料不足、価格高騰が考えられます。これらの変化に対応すべく情報収集と提案を通じてお客様の満足を実現します。また、法令遵守・現場主義・人材育成を実践し、小さなことから一つひとつ、全役職員が一致団結して、より良い会社づくりを目指します。本年もよろしく

お願い申し上げます。

仙水フーズ

社長 三浦孝一郎



新年明けましておめでとうございます。昨年は急激な原料価格、電気・ガス料金の高騰に直面し、たいへん厳しい一年でした。今年も厳しい状況が続くと予想しますが、当社の活路は「お客様満足の追求」と考えています。お客様から「また食べたい」と言っていただけの「ものづくり」をひたすら追求していきます。

今年、生産性の向上と高付加価値化にも努めます。自動切身機械を導入し、生産性の向上と省力化を図ります。また、「骨取り」製品の開発も計画しています。

ベトナムからの技能実習生3名が新たに加わり、生産体制も充実してきました。仙水グループ各社様に貢献できるよう、全社員一丸となって頑張ります。今年もよろしく

お願いいたします。

仙台鮪販売

社長 千賀 潤



新年明けましておめでとうございます。仙台水産はじめ、仙水グループ各社の皆様には多大なご支援、ご協力を賜りありがとうございました。

昨年以上期は、コロナ禍や戦争による世界情勢の激変に翻弄され、守りの経営になりましたが、下期の仙水提案会を機に新商品提案、食べ方提案等、攻めの経営がお客様に支持されました。

今年、供給制約、資源価格高騰や新生活様式による消費者のニーズが変化していくと思われま

す。仙台水産営業部とより一層連携を密に行い、攻めの商品提案や営業提案を決断と才知を持って行い、新しい成長の礎になれるよう全社員一丸となりまい進いたします。「明るく元気に笑顔であいさつ」をモットーに、グループに貢献できるよう頑張ります。

ダイスイ

社長 大森 圭



新年明けましておめでとうございます。依然として、国内の経済状況は芳しいものではありませんが、海外においては日本食ブームが堅調でそこに円安の要因も重なり、輸輸出向け食材として高級魚の取り扱いが増加傾向にあります。活魚等の得意魚種が順調に水揚げされ、創業以来、最高益を残す見通しです。これも全てグループ各社の皆様の多大なるご支援とご協力の賜物と受け止めております。この場を借りまして感謝申し上げます。

さて従業員不足の当社に嬉しい話題があります。1月と4月に1名ずつ新しい仲間を迎えることになりました。水産業は最高！と感じてくれるような職場環境に整え、未来の水産業を背負う貴重な人材として、親切丁寧に指導してまいりたいと思います。

桃浦かき生産者合同会社

代表社員 新田 拓哉



新年明けましておめでとうございます。昨年は仙台水産はじめグループ各社の皆様に、ご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

弊社も設立11期目を迎え、たくさんさんの試練の年になりました。地球温暖化の影響による海水温の上昇や卵巣肥大症による生産量の低下、また、従業員の高齢化など六次産業に取り組み弊社にとって問題が山積みでした。しかし、従業員が一人となつて協力し合い、何とか年末を乗り切ることができました。今年もたくさんさんの問題が出てくると思いますが、何ごとに対しても全力でやりきることを目標に掲げ、若手社員が日々成長、努力し、生産や経営力の強い会社になれるよう、社員一同取り組んでまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

中央水産花巻

社長 坂井 義昌



新年あけましておめでとうございます。旧年中はグループ各社様には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

昨年は近年に無いほど様々な方面で状況が激変し、悪化した年だったと感じています。未だに終わりを見せず今後さらに悪化すること考えられます。とりわけ東北の水産業界には、東日本大震災から11年が経ち、ようやく薄らいだかに見えた風評被害問題が再燃する心配も見られます。このような環境を鑑みても、本年も厳しい年になると推察されます。中央水産花巻では、今年を「ピンチをチャンスに変える年」と捉え、一人ひとりがチャレンジすることを念頭に置きながら行動してまいります。本年もグループ各社様のご指導を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

秋田丸魚

社長 加藤 研吾



新年明けましておめでとうございます。平成26年にグループの一員となり、早いもので8年が経ちました。コロナ禍を抜けたせい令和4年も、グループの皆さんの多大なるご支援・ご協力です。新年を迎えることができ、誠にありがとうございます。今年こそ自主・自立の精神で経営力を強化し、恒常的な業績向上を実現します。まずは売上をコロナ前レベルまでの回復と、粗利の増大・在庫回転率のアップに注力します。またグループの秋田県拠点市場としてお客様第一主義で変化に対応できる柔軟性を養い、県内外の量販店・業務筋への対応を拡大し、秋田からの商品情報発信に今後鋭意取り組みますので、仙水グループの皆様方にはなお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

STC

社長 千葉 祐之



新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスもほぼ軽症中心となり、人の移動も復活しつつあります。日本の海外食品輸出金額は初の1兆円を超え、今後は2025年3兆円、2030年5兆円に向けて地域間競争が厳しくなってきたいます。輸出事業は宮城県内、東北各地の生産者の支援を第一に、食材の魅力、美味しさを海外ユーザーへ効果的に発信し続けていくことが固定客獲得の重要な点となります。今年はグループの水産物を中心にしながら、和牛、青果物、お酒と海外ニーズの高い食材の取扱いを着実に伸ばせるよう販路拡大、固定客づくりに励みます。そのためにはグループ各社様の多様な力（提案力・商品力・営業力）が益々重要となりますのでご支援をお願いいたします。

仙台宮水
大平水産

社長 鈴木 雄一



新年明けましておめでとうございます。昨年はコロナ禍の中、仙台水産はじめ仙水グループの皆様にはご支援、ご協力をいただきありがとうございました。今年も新型コロナウイルス「オミクロン株」の対応が長く続くことと覚悟し、社員全員が「お客様第一」で「お客様に喜んでいただく」をモットーに、もっとお客様に近づき困っていることの解決を最優先に行動します。常に基本を忘れず「ワンチーム」で質の良い提案営業を行い、一致団結し数値目標を達成します。

大平水産も「お客様第一」で太物課、近海特種課、冷凍課が仙台宮水と連携し小売店様、業務関係に質の良い提案営業で今年も業績向上を期してまいります。今年もご指導のほどよろしくお願ひいたします。

鈴力水産

社長 山口 清一



新年明けましておめでとうございます。昨年中は、仙水グループ各社様には大変お世話になりました。今年の抱負として社内業務共有、昨年果たせなかった売場改装、若手社員教育に注力し、業績確保したいと考えています。昨年はコロナ感染により、部門を超えた業務共有の大切さと「やればできる」が分かりました。この経験を活かし、助け合い連帯感のある組織作りを行います。また売場の改装においては、加工施設を充実させお客様に役立つ提案と差別化を図れるよう取り組みます。若手社員には、店舗で商品化や陳列などを経験できる機会創出により、現場を知ることから教育します。社員一丸となって業績確保に取り組みたいと思います。

本年もどうぞよろしく
お願いいたします。

東海

社長 松尾 直樹



新年明けましておめでとうございます。昨年中は仙台水産はじめ仙水グループの皆様には多大なるご支援、ご協力をいただきありがとうございました。新年度は昨年の反省を踏まえ、お客様一人ひとりに誠実、丁寧に対応します。お客様から信用・信頼を得られるよう、私自身はじめ社員全員が努力してまいります。

本年もどうぞよろしく
申し上げます。

松洋水産

社長 奥津 淳一



新年明けましておめでとうございます。昨年中は仙台水産はじめグループ各社の皆様にはご支援、ご協力をいただきました。ありがとうございます。

本年もどうぞよろしく
申し上げます。

門間水産

社長 曾我 佳充



新年明けましておめでとうございます。昨年は仙台水産はじめ仙水グループの皆様にはご支援、ご協力をいただきました。ありがとうございます。

本年もどうぞよろしく
申し上げます。

東北鈴丸水産

社長 寺島 英行



新年明けましておめでとうございます。グループの皆様には大変お世話になり心より御礼申し上げます。さて、コロナ禍も3年目に入り感染予防対策を取りながらの経済活動が再開され、感染者数を見ながらではありましたが人の動きも出てまいりました。まだまだ厳しい状況ではありますが、しっかりとお客様に向き合った販売をしてまいります。社会変化が激しい時代、柔軟に対応出来る体制改善が求められます。1人ひとりが目標を持ち、それに向かっている努力を惜しみません。自分の仕事はもちろん、周りにも気遣いのできる、マルチな人材を育てていきます。また親切丁寧な対応を心がけます。

本年もどうぞよろしく
申し上げます。

丸正水産

社長 齋藤 和幸



新年明けましておめでとうございます。昨年4月社長に就任し、厳しい状況の中、何とか年末を無事に乗り切ることができました。それも仙台水産はじめ、グループ各社の皆様のご支援、ご協力のお陰と感謝申し上げます。

本年もどうぞよろしく
申し上げます。